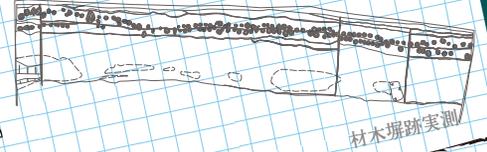


東松島市内の主な遺跡「里浜貝塚」「赤井官衙遺跡」「江ノ浜貝塚」「野蒜築港跡」の最新の成果を報告します。

想定よりも**巨大だった!**
未だ全貌見えぬ牡鹿柵の**謎。**
—赤井官衙遺跡—



川前地区で見つかった材木堀跡



材木堀跡実測

えみし **VS 蝦夷政策!**
多賀城による塩生産プロジェクト
—江ノ浜貝塚—



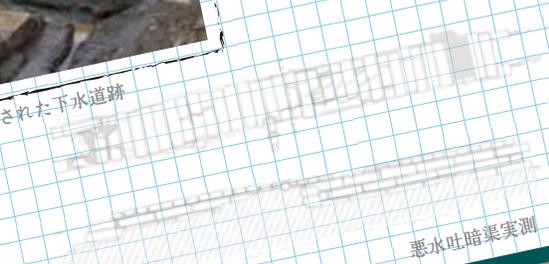
陸奥国府多賀城直轄の製塩施設

多賀城跡出土木簡 (『多賀城跡木簡1』2011)



野蒜市街地に整備された下水道跡

まぼろしの港...
考古学が明かした近代土木遺産
—野蒜築港跡—



悪水吐暗渠実測

令和6年度
東松島市遺跡報告会

東松島を掘る!

2024
6/15 (土)

3月発行縄文村イベントカレンダーの日程から変更になりました!

第1回 ~~6/16~~ (日) 13:00 ~ 15:00

会場 野蒜市民センター

(東松島市野蒜ヶ丘1丁目15-1 JR野蒜駅となり)

第2回 **6/30** (日) 13:00 ~ 15:00

会場 赤井市民センター

(東松島市赤井字川前三189-1 三陸道石巻港ICから車で5分 JR陸前赤井駅から北に1.3km)

講師 当市学芸員

入場無料・予約不要 ※両日とも報告内容は同じです。ご都合の良い日にご参加ください。

主催: 東松島市教育委員会生涯学習課文化財係

問合せ 0225-88-2292 (東松島市生涯学習課文化財係)
〒981-0412 宮城県東松島市宮戸字里 81-18

HAKKUTSU NOTE



東松島を掘る！

みなさんは東松島市にどれくらい遺跡があるのかご存じでしょうか。実は市内には縄文時代から近代まで計 141 か所の遺跡が残されています。そのうち、里浜貝塚・赤井官衙遺跡群・矢本横穴は国の史跡に指定されており、さらに令和 5 年 10 月には野蒜築港跡が指定に相当する遺跡と認定されました。

市教育委員会の文化財係・奥松島縄文村歴史資料館では、市内にある遺跡の発掘調査や文化財の保存・活用を行っています。しかしながら、発掘調査によって何が出土したのか、どのようなことがわかったのか、具体的な成果をお伝えする機会が限られていました。そこで、最新の調査成果を知ってもらう場として本報告会を企画しました。今回は 3 つの遺跡にスポットを当てて、それぞれ分かりやすく解説します。

今回取り上げる遺跡はこちら！

○赤井官衙遺跡（奈良・平安時代）

赤井地区にある牡鹿柵跡または牡鹿郡家とみられる古代の役所跡で、関東地方からの移民により造営された。100 次以上の発掘調査を実施してきたが、近年の調査で新たな事実が判明するとともに、謎もさらに深まった。

○江ノ浜貝塚（平安時代）

宮戸地区にある古代の塩づくりの場。古代の松島湾沿岸は塩の一大生産地で、中央国家の対蝦夷政策の一環として、陸奥国府多賀城の直営で塩の生産が行われていた。その中核施設がまさにこの遺跡である。

○野蒜築港跡（明治時代）

浜市地区にある近代の港湾跡。教科書にも出てくる明治政府初代内務卿の大久保利通が計画に関わっていた。明治 15 年 (1882 年) に内港は開港したものの、外港建設に問題があり、さらに追い打ちをかけるように明治 17 年 (1884 年) の台風により崩壊、計画は中止となった。

開催日

2024

6/15 (土)

第 1 回

~~6/16 (日)~~ 13:00 ~ 15:00

会場 野蒜市民センター

第 2 回

6/30 (日) 13:00 ~ 15:00

会場 赤井市民センター

講師 当市学芸員

入場無料・予約不要 ※両日とも報告内容は同じです。ご都合の良い日にご参加ください。

スケジュール

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 趣旨説明
- 13:15 遺跡報告①
- 13:45 休憩
- 13:55 遺跡報告②
- 14:25 遺跡報告③
- 14:55 閉会挨拶

会場



東松島市野蒜ヶ丘 1 丁目 15-1 JR 野蒜駅となり



東松島市赤井字川前三 189-1 三陸道石巻港 IC から車で 5 分 JR 陸前赤井駅から北に 1.3km